

委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ掲げたテーマについて審査しています。このページでは、その審査内容や各委員会の活動状況を報告します。

今号は 建設経済常任委員会に注目

私たちが
委員です



川那子秀雄委員長 仁平実副委員長 塚本明委員 増田昇委員 潮田新正委員 皆川光吉委員 中川泰幸委員

建設経済常任委員会では、4つの所管（経済部・建設部・上下水道部・農業委員会）に属する事項を調査・審査します。

まちづくり交付金一部返納へ

第五回臨時会において継続審査となっていた専決処分

しました。

勉強会等を実施し

農業委員会の活発化を

（平成二十二年度桜川市一般会計補正予算（第二号）は、詳細な説明を聴取し審議した結果、委員全員の賛成により承認すべきものと決定しました。

農業委員会においては、総会終了後に勉強会や講演会を実施し、農業委員会のさらなる活発化を図るよう要望しました。

シエルター備品購入契約は慎重に
岩瀬駅前整備に伴う街路事業について、委員から「随意契約により実施されたシエルターの備品購入は異常に高い」との意見がありました。今後、契約については慎重を期するよう要望しました。

残土搬出等の三工事適正な契約執行を

高久ストックヤードの残土搬出及び処分の三工事について、随意契約で行ったこととだが、随意契約をするにしている高すぎる額となっていることから、今後は契約担当課と十分協議をして適正な工事契約を執行するよう要望しました。

これは「まちづくり交付金事業」で真壁地区において国から助成された交付金の一部に、加算金を加えた八七七万円を国に返納するため、専決処分により補正を行ったものです。

当委員会としても、早期に報告等を受けていけば対応策も十分検討できたため、今後こうした事態が起きないように職員間の報告・連絡を徹底するとともに、常任委員会や議会に早めに報告するよう要望

特例期限前に歳入・歳出の徹底見直しを

総務常任委員会

委員長 橋本位知朗 副委員長 岩見正純
委員 高田重雄・相田一良・増田豊・市村香・菊池伸浩・鈴木裕一

地方交付税は、合併特例法による旧三町村別々の算定方法や国の再生対策によって、約五八億円の収入を確保することができたが、特例期限が過ぎると桜川市一本の算定になり大幅減収となります。

今後、市の財政運営は一層厳しくなることが予想され、歳入・歳出全般にわたり徹底的かつ大胆な見直しを行い、財政健全化を推進していく必要があります。

また、自主財源としての市税の安定的な確保と市民間の公平性を確保するため、課税客体の適正な把握及び収納率の向上に、なお一

層の努力を要望しました。

議員の費用弁償等の廃止検討を

市議会議員の費用弁償は、現在、本会議及び常任委員会出席時に支払われているが、県内の状況もまちまちで、支払われていない市町村もあることから、議員の費用弁償については廃止する方向で臨みたい。

納税組合長報酬は、現在は納付書配布のみで、組合長としての存在目的がなくなっていると思われる。近隣市町村においても廃止となっている事例が多く見られ、納付書は全

ごみ減量化の推進を

現在、桜川市内のごみ収集・運搬は多額の費用がかかっている状態にあります。ごみの問題は今後避けては通れない問題であり、ごみ減量化は必要不可欠と思われま

す。市民に対してのごみ減量化の啓発活動、また、ごみ有料化などの検討を要望しました。

訪問入浴サービス設置に向け条件を整備

文教厚生常任委員会

委員長 飯島重男 副委員長 萩原剛志
委員 林悦子・上野征一・増田俊夫・大塚秀喜・小高友徳

障害者の自立支援事業の訪問入浴サービスについて、このサービスの設置は各市町村で任意に設けることができることから、住民からの要望も多いので、早い段階で条件を整備し対応するよう要望しました。

緊急医療体制の強化を

筑西広域病院群輪番制負担金に関連して質疑がなされたが、一刻を争う状況で救急車が現場に到着しても搬送先が定まらず多くの時間を要する現状について、特に県西総合病院の積極的な緊急医療体制の向上を図るよう要望しました。

介護保険料の収納率の向上に努力を

介護保険料について、保険料の収納率向上への取り組みや基準額が県平均であるとの説明を受けたが、介護給付費は増加の傾向にあり、今後、さらなる収納率の向上に努力するよう要望しました。

小中一貫教育推進のため教員能力の向上を

今後の教育に当たって、桜川市立小中学校適正規模等検討委員会から答申された小中一貫教育の具現化を図るため、小学校・中学校の連携を強化すると

もに、先生方の指導力向上を図り、学力・体力の向上に努めるよう要望しました。

給食センター建設計画で食育充実と地産地消の検討を

北学校給食センターの老朽化に伴い、新たな学校給食センター建設計画が検討されているが、この事業に当たっては、食育の充実並びに食材のさらなる地産地消もあわせて進めるよう要望しました。

現地視察

を行いました

- 【十月二十七日】
- ・岩瀬東中学校
- ・羽黒子育てクラブ
- ・岩瀬東部保育所